



発送と郵便業務
インサーター

Relay™ 2000

ドキュメントインサーションシステム

操作ガイド

SV63139-JA Rev. D

2016 年 4 月

SV63139-JA Rev. D ©2006, 2016 Pitney Bowes Inc.

All rights reserved. ピツニーボウズの書面による明示的な許可がない限り、本書の一部または全部をいかなる方法においても複製することはできず、いかなる情報検索システムに保存することも、また、電子的または機械的を問わずいかなる方法においても伝送することはできません。ピツニーボウズでは、この文書の正確性および有用性を確保するため、あらゆる合理的な努力を行っていますが、誤りや脱落、あるいは弊社製品の誤用または不正使用による障害に関して責任を負うことはできません。

製品の改良を引き続き行っているため、機器やマテリアルの仕様および性能については、予告なしに変更される場合があります。E-Z Seal は Pitney Bowes Inc. の登録商標です。

安全性.....	vii
----------	-----

第 1 章・システムの概要

Relay 2000 インサーターの概要.....	1-3
製品の機能.....	1-3
Relay 2000 インサーター（コントロールパネル付き） - 各部の名称.....	1-4
コントロールパネルの確認.....	1-6
コントロールパネルのアイコン.....	1-8
表示言語の変更.....	1-10

第 2 章・ジョブの設定

コントロールパネルを使用したナビゲーション.....	2-3
スキャンジョブ（OMR）および非スキャンジョブ.....	2-4
ジョブの設定.....	2-5
セットアップモード.....	2-5
ジョブ番号の選択（新規または既存のジョブ）.....	2-5
スキャンジョブ（OMR）の設定.....	2-6
非スキャンジョブの設定.....	2-14
既存ジョブの変更.....	2-22
ジョブの削除.....	2-22

第 3 章・ジョブの実行

ジョブの実行.....	3-3
電源の確認.....	3-4
ジョブの選択.....	3-4
手差しフィードジョブ.....	3-5
用紙のセット.....	3-6
シートフィーダーの調整と用紙のセット.....	3-6
封筒フィーダーの調整と用紙のセット.....	3-7
インサートフィーダーの調整と用紙のセット.....	3-8
テストの実行.....	3-10
操作中の用紙変更または二重検知の問題.....	3-10
処理の開始と停止.....	3-11
封かん水の充填.....	3-11
スタッカーの調整.....	3-12

目次

第 4 章・OMR スキャン

光学的マーク認識 (OMR)	4-3
正確性	4-3
OMR とフィーダー	4-3
OMR スキャンタイプ	4-4
基本 OMR	4-4
拡張 OMR	4-4
OMR のマーク位置	4-4
OMR の仕様	4-5
標準の OMR 位置	4-6
オフセットの OMR 位置	4-7
使用可能な OMR マーク	4-8
ベンチマーク	4-8
セーフティ	4-8
名寄せの終わり (EOC)	4-8
名寄せの始め (BOC)	4-8
パリティ	4-8
リタイミングマーク	4-8
選択フィード (SF)	4-9
オートバッチ	4-9
ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3)	4-9
OMR マークのグループ	4-10
内三つ折り および 四つ折りジョブ	4-10
OMR スキャナーの調整	4-11
OMR のトラブルシューティング	4-12
OMR ジョブのエラーリカバリー	4-12
名寄せジョブのエラーリカバリー	4-12
空のフィーダーのエラーリカバリー	4-12
OMR のエラーメッセージ	4-13

第 5 章・紙詰まり解消

紙詰まり解消	5-3
マシン内部へのアクセスによる紙詰まりの除去	5-3
シートフィーダートレイ - 取り外しと取り付け	5-3
紙折りプレート - 取り外しと取り付け	5-4

インサートトレイ - 取り外しと取り付け.....	5-4
キャリッジアセンブリへのアクセス.....	5-4
封筒フィーダーエリアへのアクセス.....	5-5
封筒排出エリアへのアクセス.....	5-5
封筒封入／封かんエリアへのアクセス.....	5-6
シートフィードエリアへのアクセス.....	5-6

第 6 章・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

トラブルシューティング全般.....	6-3
エラーメッセージ.....	6-7

第 7 章・マテリアルの仕様

マテリアルの仕様.....	7-3
シートフィーダー.....	7-3
インサートフィーダー.....	7-5
シーラー.....	7-5
スタッカー.....	7-5
用紙要件.....	7-5
封筒フィーダー.....	7-6
マシンの仕様.....	7-7
サービス.....	7-8

このページは意図的に空白になっています。

安全性

マシンを使用する際は、次の使用上の注意を守ってください。

- マシンを使用する前に、本書をよくお読みください。
- マシンは本来の目的以外に使用しないでください。
- マシンは、利用しやすいコンセントの近くに設置してください。
- マシンは、適度な通気が得られ、点検のしやすい場所に設置してください。
- この機器に付属の AC 電源アダプターを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、機器が損傷する場合があります。
- AC アダプターは、機器の近くにあり、適切にアースされた、利用しやすい壁コンセントに直接差し込んでください。機械を適切に設置しないと、重大な事故の原因となることがあります。
- AC アダプターの電源コードを先の尖った物の上に這わせたり、家具の間に挟まらないようにしてください。電源コードが張り過ぎないようにしてください。
- ユニットが損傷した場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
- 指、髪の毛、アクセサリー、衣服などは、常に可動部分から離すようにしてください。
- 機械の使用中は、可動部分または可動マテリアルに触れないでください。紙詰まりを解消する前に、マシンが完全に停止していることを確認してください。
- 紙詰まりしたマテリアルは、ゆっくりと慎重に取り除いてください。
- カバーを取り外さないでください。カバーの中には危険な部品が入っており、所定の訓練を受けたサービス担当者以外は触れることができません。
- 火気のあるものをマシン上に置かないでください。
- 過熱を防ぐために、通気口を塞がないでください。
- 弊社純正の消耗品のみを使用してください。
- 不適切な保管状態、およびスプレー式ダスターや可燃性のスプレー式ダスターの使用は、事故の原因となる事があります。
- 可燃の表示があるスプレー式ダスターは使用しないでください。スプレー式ダスターを使用する場合は、容器のラベルに記載されている指示や安全注意事項を必ずお読みください。
- 定期的な点検をせずにこの機器を運転すると、最適な運転性能が得られず、機器の機能不良の原因となることがあります。
- 必ず、御社の労働安全衛生基準に従ってください。

安全性

- 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。
- マシンが破損した場合や機能しない場合は、ただちにサービス担当者にご連絡ください。
- 以下については、販売元にご連絡ください。
 - 消耗品
 - ユニットが損傷した場合
 - 必要な保守サービススケジュール

スタッカーに AC アダプターが付いている場合：

- この機器に付属の AC 電源アダプターを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、機器が損傷する場合があります。
- 感電を防ぐために、AC アダプターは適切にアースされた壁側のプラグに差し込んでください。
- AC アダプターの電源コードを先の尖った物の上や家具の間に配線しないでください。電源コードが張り過ぎないようにしてください。

重要：ここに記載されているインサーター機能およびオプションの一部は、お使いのインサーターではご利用いただけない場合があります。

サポートが必要な場合 - 連絡先情報

連絡先情報は、システムに貼付のステッカーまたはシステムに付属の別資料に記載されています。

ピツニーボウズジャパン カスタマーケアセンター（フリーダイヤル：0120-09-1995）にご連絡ください（平日：9:00～17:00、土日祝祭日、12月30日～1月4日を除く）

このページは意図的に空白になっています。

1・システムの概要

目次

Relay 2000 インサーターの概要	1-3
製品の機能	1-3
Relay 2000 インサーター（コントロールパネル付き） - 各部の名称	1-4
コントロールパネルの確認	1-6
コントロールパネルのアイコン	1-8
表示言語の変更	1-10

このページは意図的に空白になっています。

Relay 2000 インサーターの概要

- Relay 2000 は、2つのステーションがあるインサーターで、1つはシートフィーダー、もう1つはインサートフィーダーです。
- システムに組み込まれたコントロールパネルでは、ジョブの設定と実行を行います。
- 処理スピードは機械の構成によって異なります。
- ご購入のモデルによっては、システムに OMR（光学的マーク認識）スキャナーを装備できます。



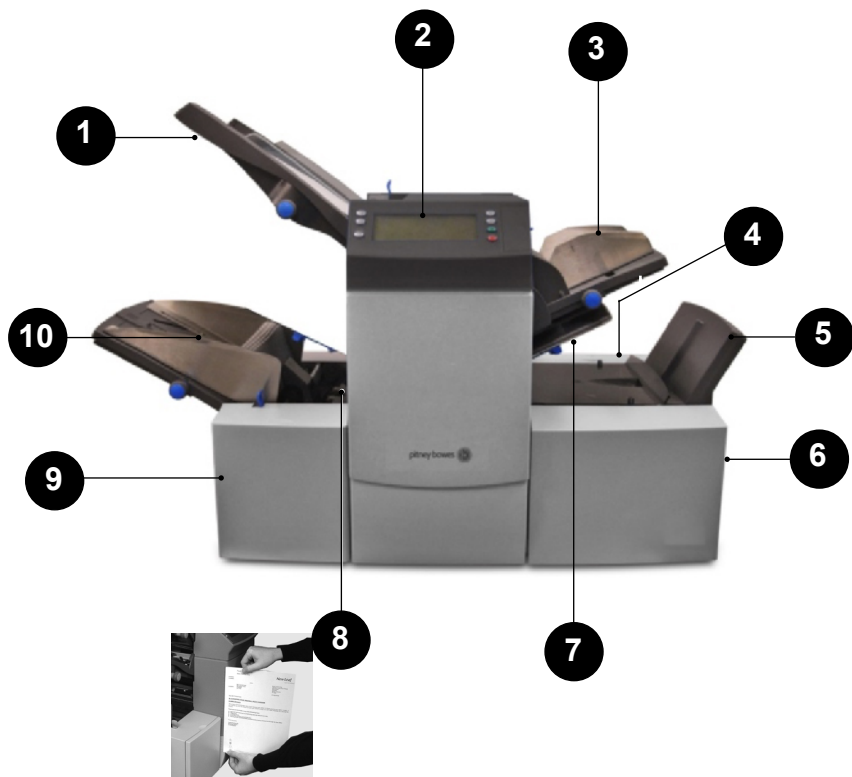
製品の機能

Relay 2000 インサーターには、次のような機能があります。

- 封筒の封かん有り／封かん無しオプション
- シートフィーダーによる用紙のオートフィード
- 紙折りプレートの自動設定
- 封筒のオートフィード
- 重送の自動検知（選択した場合）
- 紙折りのみの機能（紙折りのみ、封入なし）
- 1枚および複数枚の手差しフィード、半自動封入
- 二つ折り、内三つ（C）折り、外三つ（Z）折り、四つ折りの各オプション
- ジョブ取り消し機能
- 光学的マーク認識（OMR）スキャン

1・システムの概要

Relay 2000 インサーター（コントロールパネル付き） - 各部の名称



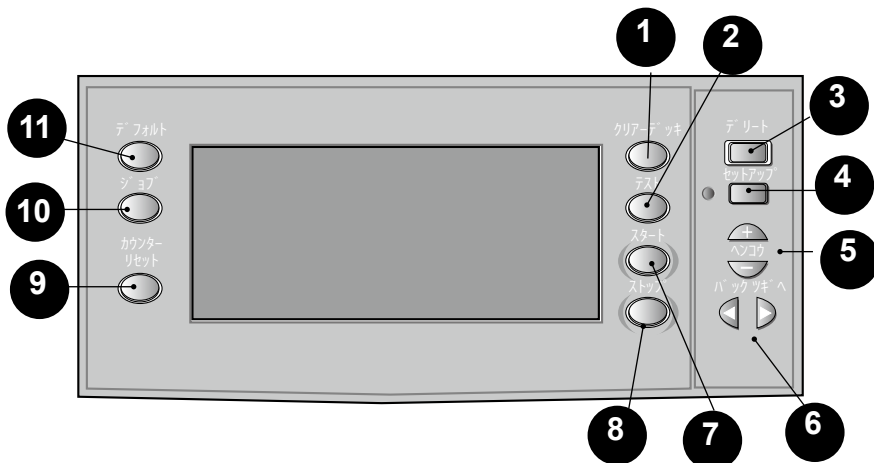
1	<p>シートフィーダー1 - 紙折りが必要な用紙をフィードするためのフィーダーです。</p> <p>また、シートフィーダー1を [手差しフィード] に設定することもできます。このモードでは、最大5枚のホチキス留めされた用紙を処理できます。マシンは、各セットがシートフィーダーに手差しでフィードされてから、紙折りや封入を自動的に行います。</p>
2	<p>表示/コントロールパネル - このパネルにコマンドを入力します。また、このパネルには、インサーターのステータスが記号やアイコンで示されます。</p>

<p>3</p>	<p>インサートフィーダー - このフィーダーを使用して、封筒に同封物を追加します。このフィーダーからフィードした用紙を折ることはできません。このフィーダーは、折り済みまたは厚手の同封物のフィードを行います。</p>
<p>4</p>	<p>封かん水ボトル - 封かん水ボトルは、マシン後部右側にあります。このボトルはカバーの下にあり、封かん水ボトルには、シーラーに使用する封かん水を入れます。</p>
<p>5</p>	<p>封筒インバーター - 表面を上にして封筒をスタッカーに搬送します。</p>
<p>6</p>	<p>ドロップスタッカーまたはアウトプット装置 (図には表示されていません) - インサーターの出口側にあり、完成した郵便物を受け止めます。使用していないときにはたたむことができます。また、標準のドロップスタッカーよりも容量が大きい各種パワースタッカーが用意されています。</p>
<p>7</p>	<p>紙折りプレート - シートフィーダーからフィードされた用紙を目的に合わせて折ることができます。紙折りプレートの設定は、コントロールパネルから行います。</p>
<p>8</p>	<p>計測スケール - スケールは、インサーターの左側のシートフィーダー付近にあります。またこのスケールを使用して、用紙や封筒を計測できます。</p>
<p>9</p>	<p>手動クランク - これは、前面左にあるカバーの内側にあります。このつまみを使用して用紙詰まりを取り除きます。</p>
<p>10</p>	<p>封筒フィーダー - 封入エリアに封筒をフィードします。封入エリアでは、他のフィーダーから送られた用紙が封入されます。</p>

1・システムの概要

コントロールパネルの確認

マシンのコントロールパネルにあるボタンを使用して、ジョブの設定や実行を行います。表示画面には、マシンのステータスが表示されます。



1	【クリアデッキ】 - マシン内部に残った用紙を排出します。また、動作が停止した際にこのボタンを押すと、マシンから用紙が取り除かれ、自動運転が可能になります。
2	【テスト】 - マシンの設定を確認するために、テストを1回実行します。【スタート】ボタンで自動運転を開始する前に、テストを実行する必要があります。二重検知が有効になっている場合は、テストを実行した際、マシンが自動的に設定されます。テストの封筒は封かんされず、1通としてカウントされます。
3	【デリート】 - セットアップモード中に押すと、ジョブがメモリから削除されます。
4	【セットアップ】 - セットアップモードにするとときに押します。このモードでは、ジョブを設定できます。設定されたジョブは、【ジョブ】ボタンで簡単に呼び出すことができます。

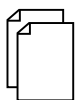
<p>5</p>	<p>[ヘンコウ] (+/-) - セットアップモードでこのボタンを押すと、オプションを選択したり、マシン設定値を設定したりできます。</p>
<p>6</p>	<p>[バック] ◀ および ▶ [ツギへ] - セットアップモードでこのボタンを押すと、前のジョブ設定または次のジョブ設定に移動できます。</p>
<p>7</p>	<p>[スタート] - 処理が開始されます。</p>
<p>8</p>	<p>[ストップ] - 処理の終了後に、停止します。</p>
<p>9</p>	<p>[カウンターリセット] - 通数のカウンターまたはバッチカウンターがリセットされます。</p>
<p>10</p>	<p>[ジョブ] - マシンに設定されたジョブをスクロールで変更できます。本機では、最大 20 個のジョブを設定することができます。</p>
<p>11</p>	<p>[デフォルト] - マシンの設定がデフォルト設定に戻ります。これらの設定は、工場出荷時に事前定義されています。ピツニーボウズのカスタマーサービスは、この設定を特定の用途に応じて変更することができます。</p>

1・システムの概要

コントロールパネルのアイコン



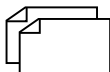
シートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が**実行されない**ことを示します。



シートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が**実行される**ことを示します。



インサートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が**実行されない**ことを示します。



インサートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が**実行される**ことを示します。



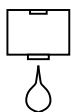
シートフィーダー 1 で使用され、フィーダーが手差しフィード用に設定されていることを示します。



封筒フィーダーで使用され、フィーダーがオンであることを示します。

.. 3 ..

封筒ストップの設定 (1 ~ 5) を示します。



封かん水ボトルに水を補充する必要があることを示します。



封筒の縦幅を示します。

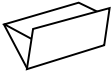


シーラーユニットがオフであること (封筒は封かんされない) を示します。

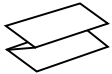
コントロールパネルのアイコン（続き）



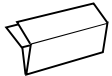
シーラーユニットがオンであること（封筒は自動的に封かんされる）を示します。



C（内三つ）折りが選択されていることを示します。



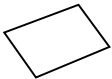
Z（外三つ）折りが選択されていることを示します。



四つ折りが選択されていることを示します。



二つ折りが選択されていることを示します。



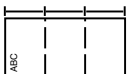
折りなしのまま封入される事を示します。



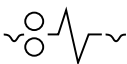
用紙詰まりがあることを示します。ディスプレイ上のこの記号の位置は、用紙詰まりが発生している場所を示しています。



このアイコンが表示された場合は、ピツニーボウズに修理を依頼してください。



シートフィーダーに設定されている用紙サイズ、用紙の向き、および折り方を示します。



パワースタッカーなどの後処理工程で用紙詰まりが発生していることを示します。

1・システムの概要

表示言語の変更

コントロールパネルのディスプレイに表示される言語を変更するには、次の手順に従います。

1. セットアップボタンにアクセスする為に、コントロールパネルのディスプレイ右側にあるカバーを開きます。
2. **【セットアップ】 ボタン**を押します。インサーターにアクセスコードの入力を求める画面が表示されます。
3. **【ヘンコウ】 (+/-)** を押して、アクセスコードを「99」に設定します。
4. **【ツギへ】 (▶)** を押して、言語オプションを選択します。
5. **【ヘンコウ】 (+/-)** を押して、使用可能な言語をスクロールで変更します。
6. 目的の言語が表示されたら、**【セットアップ】** を押して言語を選択し、セットアップモードを終了します。

2・ジョブの設定

目次

コントロールパネルを使用したナビゲーション...	2-3
スキャンジョブ（OMR）および 非スキャンジョブ.....	2-4
ジョブの設定.....	2-5
セットアップモード.....	2-5
ジョブ番号の選択（新規または既存の ジョブ）.....	2-5
スキャンジョブ（OMR）の設定.....	2-6
非スキャンジョブの設定.....	2-14
既存ジョブの変更.....	2-22
ジョブの削除.....	2-22

このページは意図的に空白になっています。

このセクションでは、コントロールパネルを使用して、新しいスキャンジョブ（OMR）または非スキャンジョブを設定し、保存する手順について説明します。

コントロールパネルを使用したナビゲーション

セットアップボタンにアクセスするには、コントロールパネルのディスプレイ右側にあるカバーを開きます。セットアップボタンを使用して、ジョブの設定も行います。ガイドとして、コントロールパネルのディスプレイで、設定するエリアの横にアスタリスク（*）が点滅します。

- セットアップボタンにアクセスするには、ディスプレイの右側にあるカバーを開きます。
- **【バック】**（◀）および **【ツギへ】**（▶）ボタンを使用して、使用できる設定をスクロールします。
- 目的の設定が表示されたら、**【ヘンコウ】**（+/-）ボタンを使用してオプションを選択するか、設定内で値を設定します。

2・ジョブの設定

スキャンジョブ（OMR）および非スキャンジョブ

OMR スキャン機能がシステムで有効になっている場合は、オペレーターはジョブに応じて、スキャンをオンおよびオフに変更できます。スキャン機能がお使いのインサーターで使用できない場合は、ジョブ設定が若干異なります。

下の表を参照して、ジョブタイプに適用される手順を確認し、このセクションで説明されている手順に従います。

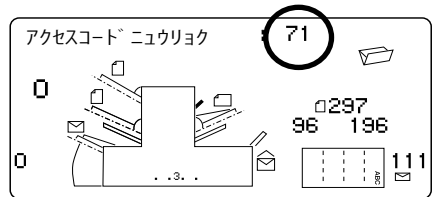
スキャンジョブおよびスキャン以外のジョブ作業手順

スキャンジョブ（OMR）	非スキャンジョブ
スキャンを有効にする （OMR オンまたはオフ）	スキャンを無効にする（OMR オフ） （お使いのインサーターで使用可能な場合）（お使いのインサーターにスキャン機能が搭載されていない場合は、スキップ）
折りタイプの設定	折りタイプの設定
メイン（スキャン）シートフィーダーの設定	名寄せの設定
シーラーの設定	シートフィーダー 1 の設定
用紙の長さの設定	インサートフィーダーの設定
折り A / 折り B の設定	モードタイプの設定（封入または折り）
封筒の高さの設定	シーラーの設定
封筒ストップの設定	用紙の長さの設定
	折り A / 折り B の設定
バッチカウンターの設定	封筒の高さの設定
ジョブ設定の確認	封筒ストップの設定
テストの実行	バッチカウンターの設定
	ジョブ設定の確認
	テストの実行

ジョブの設定

セットアップモード

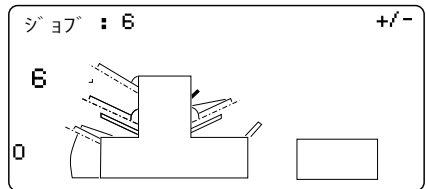
1. セットアップボタンにアクセスするには、ディスプレイ右側にあるカバーを開きます。
2. 【セットアップ】を押します。アクセスコードの入力を求める画面が表示されます。（このコードを使用することで、許可のないユーザーが設定を変更することを回避できます）。
3. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、アクセスコード「71」に設定します。
4. 【ツギへ】（▶）を押してコードを確定し、次の設定に進みます。



ジョブ番号の選択（新規または既存のジョブ）

ジョブ番号を求める画面が表示された場合は、次の手順に従ってジョブを選択または作成します。既存のジョブを選択して現在の設定を上書きするか、未使用のジョブを選択して新しい設定をプログラミングできます。

1. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、目的のジョブ番号が見つかるまで、ジョブ番号をスクロールします。（未使用のジョブを特定するには、画面にセットアップ記号が何も表示されなくなるまで、ジョブをスクロールします。）
2. 【ツギへ】（▶）を押してジョブ番号を確定し、次の設定に進みます。



注：既存のジョブ番号を使用する場合は、古い設定が追加した新しい設定に上書きされます。

2・ジョブの設定

スキャンジョブ (OMR) の設定

OMR スキャンを有効にする

1. プロンプトが表示されたら、[ヘンコウ] (+/-) を押して、[OMR オン] 設定を選択します。(以下の OMR 設定表を参照してください。)
2. [ツギへ] (▶) を押して選択内容を確定し、次の設定に進みます。

OMR スキャン設定表

OMR 機能を使用して、スキャンジョブに適用します。

OMR 設定表

OMR 設定	説明
OMR オフ	このジョブでは OMR スキャンはオフになります。
OMR オン	このジョブでは、標準 OMR のマーク位置で、OMR スキャンが有効になります。
OMR + シーケンス	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャンとラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR + セレクトフィード	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャンとセレクトフィード/オートバッチスキャンが有効になります。
OMR + セレクトフィード + シーケンス	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャンとセレクトフィード/オートバッチスキャン、およびラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR オフセットオン	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンが有効になります。
OMR オフセット + シーケンス	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンとラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR オフセット + セレクトフィード	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンとセレクトフィード/オートバッチスキャンが有効になります。
OMR オフセット + SF + シーケンス	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンとセレクトフィード/オートバッチスキャン、およびラップアラウンドシーケンスが有効になります。

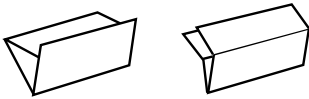
注：使用可能なオプションは、お使いのインサーターのスキャン機能によって異なります。

折りタイプの設定

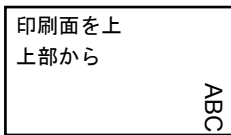
1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、折りタイプをスクロールします。
2. [ツギへ] (▶) を押して折りタイプの選択内容を確定し、次の設定に進みます。

折りタイプ

C - 内三つ折り 四つ折り



OMR スキャンを使用する場合は、使用可能な折りタイプは折りタイプ C および 四つ折りのみです。折りタイプを選択すると、用紙をフィーダーにセットする際の正しい方向がディスプレイで示されます。





2・ジョブの設定

メイン（スキャン）シートフィーダーの設定

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、オプションをスクロールします。
2. [ツギへ] (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みませす。

メイン（スキャン）シートフィーダーオプション（スキャンジョブ）



アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（二重検知器は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされると停止します。）
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。

インサートフィーダーの設定

セレクトフィードにより、インサートフィーダーからフィードされるインサートを選択（OMR マークを使用して管理）して、封入できます。

1. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、オプションをスクロールします。（詳細については、追加フィーダーオプション、スキャンジョブ表を参照してください。）
2. 【ツギへ】（▶）を押して選択を確定し、次の設定に進みます。

追加フィーダーオプション（スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン - SF（セレクトフィード）の設定ありまたは無しで選択できます	二重検知が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（二重検知機能は、同時に 2 枚以上のシートがフィードされると停止します。）
	二重検知なしでオン - SF（セレクトフィード）の設定ありまたは無しで選択できます	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーを選択します。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。



2・ジョブの設定

シーラーの設定

この設定は、封入モードが選択されている場合にのみ表示されます。封筒を封かんするかどうかを選択します。

1. 【ヘンコウ】 (+/-) を押して、オプションのオンとオフを切り替えます。
2. 【ツギへ】 (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みます。

シーラーオプション

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Z シール® または水が一杯に入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。

用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの横にあるスケールを使用して、用紙の大きさを測ります。

- A4 用紙 - 297 mm

2. 【ヘンコウ】 (+/-) を押して、紙の長さを変更します (mm 単位で表示)。
3. 【ツギへ】 (▶) を押して用紙の長さの値を確定し、次の設定に進みます。



折り A の設定

1. 最初の紙折りの位置を選択します。
注：折りタイプと用紙の長さに応じて、均等折りする為の寸法が提示されます。ほとんどの場合、この設定を変更する必要はありません。
2. 均等折りの設定を変更するには、目的の紙折りの長さが表示されるまで、【ヘンコウ】 (+/-) を押します。この記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
注：マシンの仕様に依じて、現実的に可能な位置を自動設定します（折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の長さでマシンの仕様に依じて自動的に正しく変更されます。）
3. 【ツギへ】 (▶) を押して折りの値を確定し、次の設定に進みます。

折り B の設定

1. 2 回目の紙折りの位置を選択します。
注：折り A 同様に、折り B の正しい寸法が提示されます。
2. 均等折りの設定を変更するには、目的の紙折りの長さが表示されるまで、【ヘンコウ】 (+/-) を押します。この記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
3. 【ツギへ】 (▶) を押して折りの値を確定し、次の設定に進みます。

封筒の縦幅の設定

1. 前面カバーのスケールを使用して、封筒の縦を測ります。
2. 【ヘンコウ】 (+/-) を押して、寸法をスクロールします (mm 単位で表示)。
3. 【ツギへ】 (▶) を押して値を確定し、次の設定に進みます。

2・ジョブの設定

封筒ストップの設定

注：停止位置には1～5の5つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3が標準の設定になります。薄手の軽量な用紙を封入する場合は、低い数値を設定する必要があります。また、厚手の重い用紙を封入する場合は、高い数値を設定する必要があります。

1. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、封筒ストップの位置をスクロールします。
2. 【ツギへ】（▶）を押して選択を確定し、次の設定に進みます。

バッチカウンターの設定

バッチカウンターを使用して、設定したバッチ数に達すると、マシンは自動的に停止します。

注：バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、【カウンターリセット】が押されるまで、処理されたアイテムの数を単純にカウントします。

1. 【スタート】を押して、次のバッチの処理を開始します。
2. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、バッチモードのオンとオフを切り替えます。

注：バッチカウンターがオンになっている場合、バッチ数量を求める画面が表示されます。デフォルトの数量は50です。ただし、【ヘンコウ】（+/-）ボタンを使用して、任意の値を選択できます（最大999）。

3. 【ツギへ】（▶）を押して、設定を確定します。

ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。ディスプレイには選択されたジョブ設定がすべて表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. 【バック】（◀）を押して前の場所にスクロールし、設定を変更します。
3. 【セットアップ】を押して新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。
4. セットアップの変更が完了すると、ディスプレイに新しいジョブ設定と、「テストフィールドシテクダサイ」というメッセージが表示されます。
5. テストを実行して、確認します。

注：電源を切断した場合でも、ジョブ設定は変更または削除するまで保存されます。ジョブ名を変更する必要がある場合は、このガイドの「システムの概要」章にある「ジョブ名を変更する」を参照してください。

テストの実行

テストを実行してジョブ設定を確認します。

1. 用紙をセットして【テスト】を押します。
2. テスト結果により必要な設定に変更を行う必要がある場合は、次の手順に従います。
 - a. 【セットアップ】を押します。
 - b. アクセスコード「71」を使ってログインします。
 - c. 【バック】（◀）、【ツギへ】（▶）を押して、変更したい設定までスクロールします。
 - d. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、目的のオプションまでスクロールします。
3. 【セットアップ】を押して設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。マシンがジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。

注：設定を変更した場合は必ず、テストを実行する必要があります。

誤った住所の位置 - 折り設定の調整

テストを実行して、住所が正しい位置にない場合は、「折り設定の調整」表を参照して、折り設定を微調整できます。

「折り設定の調整」表

折りタイプ	住所の位置が低い	住所の位置が高い
C - 内三つ折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
四つ折り	折り A を減らす	折り A を増やす

折りを調整するには、毎回 5 mm ずつにすることを勧めます。

2・ジョブの設定

非スキャンジョブの設定

非スキャンジョブを設定するには、次の手順で行います。

注：システムでスキャン機能が使用できない場合は、「名寄せの設定」から始めます。

OMR スキャン機能が存在する場合は、無効にします

システムでスキャンが有効になっている場合は、[OMR オフ] に設定します。

1. 画面が表示されたら、[ヘンコウ] (+/-) を押して、[OMR オフ] を選択します。
2. [ツギへ] (▶) を押して選択を確定し、次の設定に進みます。

折りタイプの設定

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、折りタイプをスクロールします。
2. [ツギへ] (▶) を押して折りタイプを確定し、次の設定に進みます。

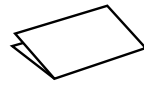
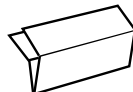
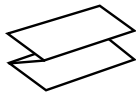
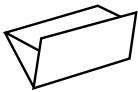
折りタイプ

C-内三つ折り

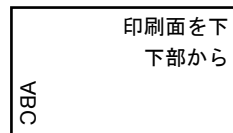
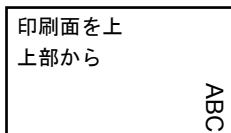
Z-外三つ折り

四つ折り

二つ折り



折りタイプを選択すると、用紙をフィーダーにセットする際の正しい方向がディスプレイで示されます。



注：名寄せジョブの場合、折り A と折り B の設定で、自動的に設定された折りの長さを手動で変更しないでください。

名寄せの設定

[名寄せ] を有効にすると、複数のシートをシートフィーダーから封筒にフィードできます。この設定は、非スキャンジョブでのみ実行できます。

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、名寄せオプションをスクロールします。
2. 名寄せをオンに設定した場合は、次の手順に従います。
 - a. [ツギへ] (▶) を押して、各封筒にフィードするページ数を設定します。([ナヨセ] = 2 ~ 5)
 - b. [ヘンコウ] (+/-) を押して、ページ数を入力します。
3. [ツギへ] (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みません。

インサーター名寄せ設定




設定	説明
[ナヨセ] : オフ	このジョブでは名寄せをオフにします。
[ナヨセ] : オン	このジョブでは名寄せをオンにします。
[ナヨセ] = (2 ~ 5)	[ナヨセ] がオンの場合は、各封筒にフィードするページ数を選択します

2・ジョブの設定

シートフィーダーの設定

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、オプションをスクロールします。
2. [ツギへ] (▶) を押して選択を確定し、次の設定に進みます。

第1/メインシートフィーダーオプション（非スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（同時に2枚以上のシートがフィードされると停止します。）
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。
	手差しフィード（この表の後に記載されている説明を参照）	ホチキス留めされた丁合い済みセットを手差しでフィードできます。シートフィーダー1でのみ実行できます。

手差しフィードオプション



- 手動フィードを設定すると、最大5枚のホチキス留めされたシートセット（セットあたり最大400 g/m²）を処理できます。紙折り後（圧縮後）のセットの最大の厚みは、2 mm以下である必要があります。
- 各セットがシートフィーダー1に挿入されると、自動的にセットを折って封入します。
- [ナヨセ] がオフの場合のみ、手差しフィードオプションを実行できます。

インサートフィーダーの設定

インサートフィーダーを使用するかどうか、またその使用方法を選択します。

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、オプションをスクロールします。(インサートフィーダーオプション表に記載されている説明を参照。)
2. [ツギへ] (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みます。

インサートフィーダーオプション

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。(同時に 2 枚以上のシートがフィードされると停止します。)
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。

モードタイプの設定 - 封入または折りのみ

この設定は、[ナヨセ] がオフの場合のみ表示されます。

用紙の封入が必要なジョブであるかどうか、または紙折りのみのジョブであるかどうかを指定する必要があります。

モードタイプを設定するには、以下の手順に従います。

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、オプションを切り替えます。
 - **封入モード**
通常の封入ジョブを実行するために、封筒フィーダーが有効になります。
 - **紙折りのみモード**
封筒フィーダーをオフにして、インサーターを紙折りモジュールとして機能するように設定します。
2. [ツギへ] (▶) を押してモードタイプを確定し、次の設定に進みます。



2・ジョブの設定

シーラーの設定

この設定は、封入モードが選択されている場合にのみ表示されます。封筒を封かんするかどうかを選択します。

1. 【ヘンコウ】 (+/-) を押して、オプションのオンとオフを切り替えます。
2. 【ツギへ】 (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みます。

シーラーオプション

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Z シール® または水が一杯に入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。

用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの横にあるスケールを使用して、用紙の大きさを測ります。

- A4 用紙 - 297 mm

2. 【ヘンコウ】 (+/-) を押して、紙の長さをスクロールします (mm 単位で表示)。
3. 【ツギへ】 (▶) を押して用紙の長さの値を確定し、次の設定に進みます。



折り A の設定

1. 最初の紙折りの位置を選択します。
注：折りタイプと用紙の長さに応じて、均等折りする為の寸法が提示されます。ほとんどの場合、この設定を変更する必要はありません。
2. 均等折り設定を変更するには、目的の紙折りの長さが表示されるまで、
【ヘンコウ】（+/-）を押します。この記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
注：マシンの仕様に依じて、現実的に可能な位置を自動設定します（折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の長さでマシンの仕様に依じて自動的に正しく変更されます。）
3. 【ツギへ】（▶）を押して折りの値を確定し、次の設定に進みます。

折り B の設定

1. 2 回目の紙折りの位置を選択します。
注：折り A 同様に、折り B の正しい寸法が提示されます。
2. 均等折りの設定を変更するには、目的の紙折りの長さが表示されるまで、
【ヘンコウ】（+/-）を押します。この記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
3. 【ツギへ】（▶）を押して折りの値を確定し、次の設定に進みます。
 - 封入ジョブ - 続行して封筒の縦の設定に進みます。
 - 紙折りのみのジョブ - これ以上必要なジョブ設定はないため、ジョブ設定の確認にスキップします。

封筒の縦の設定

1. 前面カバーのスケールを使用して、封筒の縦を測ります。
2. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、寸法をスクロールします（mm 単位で表示）。
3. 【ツギへ】（▶）を押して値を確定し、次の設定に進みます。

2・ジョブの設定

封筒ストップの設定

注：停止位置には 1～5 の 5 つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3 が標準の設定になります。薄手の軽量の用紙を封入する場合は、低い数値を設定する必要があります。また、厚手の重い用紙を封入する場合は、高い数値を設定する必要があります。

1. **【ヘンコウ】** (+/-) を押して、封筒ストップの位置をスクロールします。
2. **【ツギへ】** (▶) を押して選択を確定し、次の設定に進みます。

バッチカウンターの設定

バッチカウンターを使用して、設定したバッチ数に達すると、マシンは自動的に停止します。

注：バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、**【カウンターリセット】** が押されるまで、処理された数を単純にカウントします。

1. **【スタート】** を押して、次のバッチの処理を開始します。
2. **【ヘンコウ】** (+/-) を押して、バッチモードのオンとオフを切り替えます。

注：バッチカウンターがオンになっている場合、バッチ数量を求める画面が表示されます。デフォルトの数量は 50 です。ただし、**【ヘンコウ】** (+/-) を押して任意の値を選択できます（最大 999）。

3. **【ツギへ】** (▶) を押して、設定を確定します。

ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。ディスプレイには選択されたジョブ設定がすべて表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. **【バック】** (◀) を押して前の場所にスクロールし、設定を変更します。
3. **【セットアップ】** を押して新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。
4. セットアップの変更が完了すると、ディスプレイに新しいジョブ設定と、「テストフィールドシテクダサイ」というメッセージが表示されます。
5. テストを実行して、確認します。

注：電源を切断した場合でも、ジョブ設定は変更または削除するまで保存されます。ジョブ名を変更する必要がある場合は、このガイドの「システムの概要」章にある「ジョブ名を変更する」を参照してください。

テストの実行

テストを実行してジョブ設定を確認します。

1. 用紙をセットして **[テスト]** を押します。
2. トライアルに応じて必要な設定に変更を行う必要がある場合は、次の手順で行います。
 - a. **[セットアップ]** を押します。
 - b. アクセスコード「71」を使ってログインします。
 - c. **[バックへ]** (◀)、**[ツギへ]** (▶) を押して、変更したい設定までスクロールします。
 - d. **[ヘンコウ]** (+/-) を押して、目的のオプションまでスクロールします。
3. **[セットアップ]** を押して設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。マシンがジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。

注：設定を変更した場合は必ず、テストを実行する必要があります。

誤った住所の位置 - 折り設定の調整

テストを実行して、住所が正しい位置にない場合は、「折り設定の調整」表を参照して、折り設定を微調整できます。

「折り設定の調整」表

折りタイプ	住所の位置が低い	住所の位置が高い
C-内三つ折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす

折りを調整するには、毎回 5 mm ずつにすることを勧めます。

2・ジョブの設定

既存ジョブの変更

既存のジョブを変更するには、次の手順に従います。

1. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードに入ります。
2. **【ヘンコウ】** (+/-) を押して、アクセスコード「71」に設定します。
3. **【ツギへ】** (▶) を押してコードを確定し、ジョブ選択に進みます。
4. **【ヘンコウ】** (+/-) を使用して、編集するジョブを表示します。
5. **【ツギへ】** (▶) を押してジョブ選択を確定し、ジョブの設定に進みます。
6. **【バック】** (◀) および **【ツギへ】** (▶) を使用して、設定をスクロールします。
7. **【ヘンコウ】** (+/-) を使用して、目的のオプションおよび/または値をスクロールします。
8. **【ツギへ】** (▶) を押し、ジョブ設定を確定します。
9. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードを終了し、変更を保存します。

ジョブの削除

既存のジョブをインサーターシステムから削除するには、次の手順に従います。

1. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードに入ります。
2. **【ヘンコウ】** (+/-) を押して、アクセスコード「71」に設定します。
3. **【ツギへ】** (▶) を押してコードを確定し、ジョブ選択に進みます。
4. **【ヘンコウ】** (+/-) ボタンを使用して、削除するジョブを表示します。
5. **【デリート】** を押します。ディスプレイに「モウイチドオシテクダサイ」というメッセージが表示されます。
6. もう一度 **【デリート】** を押します。ジョブが消去される際に、「ジョブショウキョ」というメッセージがディスプレイに短く表示されます。
7. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードを終了します。

3・ジョブの実行

目次

ジョブの実行	3-3
電源の確認	3-4
ジョブの選択	3-4
手差しフィードジョブ	3-5
用紙のセット	3-6
シートフィーダーの調整と用紙のセット	3-6
封筒フィーダーの調整と用紙のセット	3-7
インサートフィーダーの調整と 用紙のセット	3-8
テストの実行	3-10
操作中の用紙変更または二重検知の問題 ...	3-10
処理の開始と停止	3-11
封かん水の充填	3-11
スタッカーの調整	3-12

このページは意図的に空白になっています。

ジョブの実行

ここで説明する操作では、ジョブがすでに設定され、Relay2000 インサーターに保存されていることを前提としています。

設定済みのジョブを実行するためにオペレーターが実行する動作：

- インサーターに電源が入っていることを確認する
- ジョブを選択する
- 用紙をセットする
 - シートフィーダーを調整してセットする
 - 封筒フィーダーを調整してセットする
 - インサートフィーダーを調整してセットする
- テストを実行する
- ジョブを実行する
- 封かん水を充填する（必要に応じて）
- スタッカーを調整する（必要に応じて）



インサーターを接続する前に、このガイドの安全性に関する情報をお読みください。

3・ジョブの実行

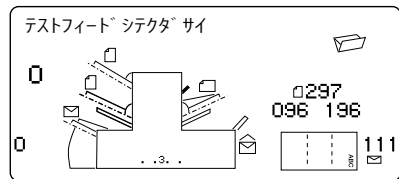
電源の確認

1. 電源コードがインサーターの裏側にあるソケットに接続されていることを確認します。
2. 機械の近くにある、利用しやすいコンセントに電源コードが接続されていることを確認します。
3. 電源スイッチをオンにします。



ジョブの選択

機械の電源がオンになると、コントロールパネルのディスプレイに最後に実行されたジョブと「テストフィードシテクダサイ」というメッセージが表示されます。

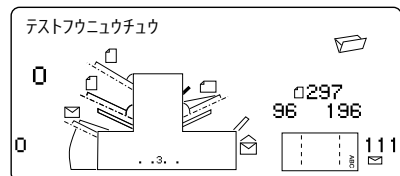


実行するジョブを選択するには：

1. 目的のジョブが表示されるまで【ジョブ】ボタンを押すか、または標準のデフォルトジョブ設定で実行する場合は【デフォルト】を押します。

注：デフォルトのジョブ設定を変更できるのは、ピツニーボウズのカスタマーサービスだけです。

2. 用紙をセットします（「用紙のセット」のセクションを参照）。
3. 用紙がすでにセットされている場合は、【テスト】を押します。インサーターが自動的に設定され、テストが実行されます。



手差しフィードジョブ

手差しフィードジョブを選択する場合、つまりシートフィーダー1が丁合い済みセットの手差しフィード用に設定されている場合は、シートフィーダーに用紙をセットしないでください。この場合は、必要に応じて一度に1つの丁合済みセットを手でフィードします。

手差しフィードジョブを実行する前に、写真に示されているようにレバーを後ろに引きます。

こうするとフィード構造が開き、手差しフィード操作を実行できるようになります。

注：フィーダーをオートフィードで使用する場合は、このレバーを通常的位置に戻します。



3・ジョブの実行

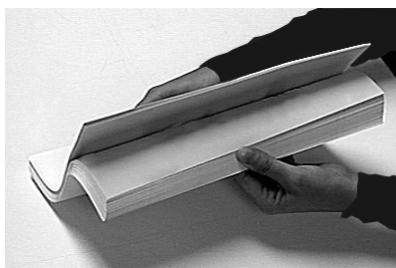
用紙のセット

シートフィーダーの調整と用紙のセット

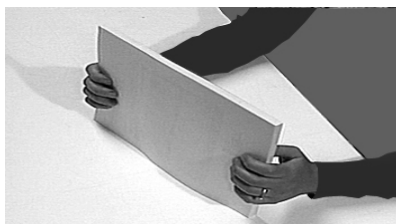
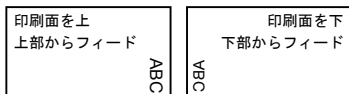
1. サイドガイドを用紙の幅に合わせて調整し、サイドガイド調整ノブを 1/4 戻します。これで、ガイドと用紙の間に適切なすき間が設定されます。



2. 各シートがくっつかないように、用紙の束をよくさばきます。



3. 束を軽くたたいて揃えます。
ディスプレイに、用紙の正しい方向が示されます。



4. 用紙の束をフィードデッキに置きます。デッキを押し下げて、重ねた用紙の上端をフィードローラーの下に滑り込ませます。

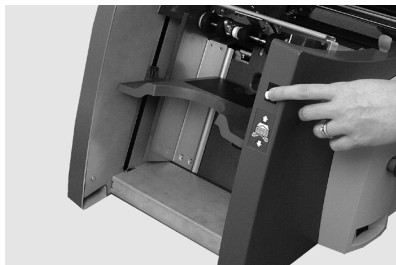


封筒フィーダーの調整と用紙のセット

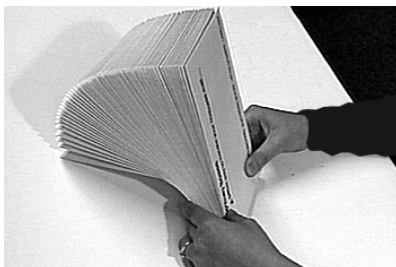
封筒フィーダーは、封入ジョブ用の封筒をフィードします。

1. サイドガイドの調整ノブを使用して、サイドガイドを封筒の幅に合わせて調整します。調整後、調整ノブを 1/4 戻してください。

これで、ガイドと封筒の間に適切なすき間が設定されます。



2. 各封筒がくっつかないように封筒の束をよくさばきます。



3. フラップ面を上にして、封筒の終端からフィードデッキに置きます。

重要！写真に示されているように、最初の封筒の先端が前方フィードローラーの下になる様にして、封筒の束を図に示すように重ねてセットします。

4. 封筒が安定するように、ウェッジ（用紙の支え）を束の後ろにスライドさせます。



3・ジョブの実行

インサートフィーダーの調整と用紙のセット

インサートフィーダーは、折りを必要としないアイテムをフィードします。

1. サイドガイドの調整ノブを使用して、サイドガイドを封入物の幅に合わせて調整します。調整後、調整ノブを 1/4 戻してください。

これで、ガイドとインサートの間に適切なすき間が設定されます。

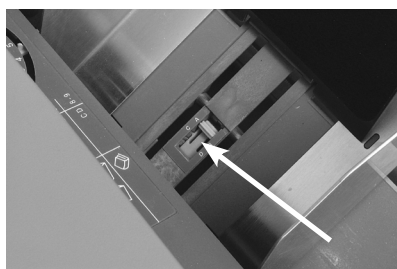
2. インサートフィーダーに貼ってあるラベルを確認して、インサートタイプとアイコン（文字 A～D）を一致させます。

封入物の識別

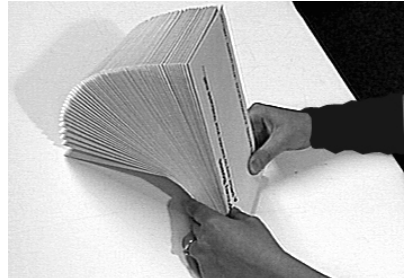
ラベルが設定の範囲を示しており、高い数値または文字を選択するほど、より厚い用紙に対応できます。

3. 青いレバーを目的の数値に設定します。

4. セパレーターシールドを該当するアルファベットに設定します。



5. 封入物がくっつかないように、束をよくさばきます。
 セットの方向は、封入物によって異なります。原則として、下記の表に示した方向ガイドラインに従って封入物をセットします。



6. ウェッジ（用紙の支え）を下にスライドさせて、封入物の後ろに移動して支えます。



インサートセットの方向を示す表

封入物の種類	方向
ペラもの	印刷面を上、下端から入れる
返信用封筒	印刷面を上、上端から入れる
折り済み	印刷面を上、折り端から入れる
ブックレット	印刷面を上、綴じ端から入れる

3・ジョブの実行

テストの実行

テストを実行してジョブ設定を確認します。

1. 用紙をセットしたら、コントロールパネルで【テスト】ボタンを押してテストを実行し、ジョブの設定が正しいことを確認します。
2. テストで微調整が必要な場合、この段階でジョブ設定を変更できます。
 - a. 【セットアップ】ボタンを押します。
 - b. アクセスコード「71」でログインします。
 - c. 【バックへ】（◀）ボタンおよび【ツギへ】（▶）ボタンを使用して、変更する設定までスクロールで移動します。そして、【ヘンコウ】（+/-）ボタンを使用してその設定を変更します。
3. 必要な変更を加えたら、【セットアップ】をもう一度押して実行モードに戻ります。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。

操作中の用紙変更または二重検知の問題

ジョブ実行中に異なる特性（重量、色合いなど）を持つ用紙をセットする場合、または二重検知に問題が発生した場合は、テストをもう一度実行します。

テストにより、二重検知機能が新しい用紙に合わせて再調整されます。

処理の開始と停止

1. コントロールパネルの【スタート】を押して、自動処理を開始します。
2. マシンは、いずれかの用紙がなくなるまで、または【ストップ】を押すまで動作します。

封かん水の充填

シーラーユニットの充填が必要になると、ディスプレイに【封かん水の補充】アイコンが点滅します。



この場合は、次の手順に従って、E-Z シール® または水を追加します。

1. マシンの後方右側にあるシーラーボトルのカバーを開き、ボトルを取り外します。
2. ボトルに示されているレベルまで、封かん水または水を補充します。
3. シーラーボトルを元の位置に取り付け、カバーを閉じます。



注：シーラーユニットが完全に空になった場合、新しい封かん水または水がシーラーに染み込み、操作を再開できるようになるまでには時間がかかります。

注：水垢の発生を最小限に抑えるため、ピツニーボウズの E-Z シールを使用することをお勧めします。

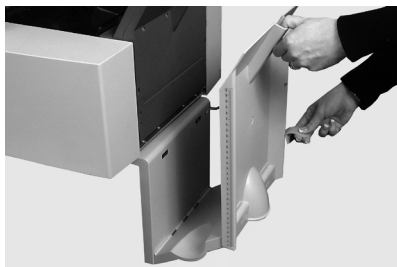
3・ジョブの実行

スタッカーの調整

処理する材料に合わせてドロップスタッカーを調整します。

1. スタッカーの後方にあるレバーを持ち上げ、スタッカーの位置を合わせます。
2. レバーを下げ、スタッカーをその位置にロックします。

注：使用しないときは、スタッカーを持ち上げて、マシンの排出部にラッチで留めておくことができます。



4・OMR スキャン

目次

光学的マーク認識 (OMR)	4-3
正確性	4-3
OMR とフィーダー	4-3
OMR スキャンタイプ	4-4
基本 OMR	4-4
拡張 OMR	4-4
OMR のマーク位置	4-4
OMR の仕様	4-5
標準の OMR 位置	4-6
オフセットの OMR 位置	4-7
使用可能な OMR マーク	4-8
ベンチマーク	4-8
セーフティ	4-8
名寄せの終わり (EOC)	4-8
名寄せの始め (BOC)	4-8
パリティ	4-8
リタイミングマーク	4-8
選択フィード (SF1)	4-9
オートバッチ	4-9
ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3)	4-9
OMR マークのグループ	4-10
内三つ折り および 四つ折りジョブ	4-10
OMR スキャナーの調整	4-11
OMR のトラブルシューティング	4-12
OMR ジョブのエラーリカバリー	4-12
名寄せジョブのエラーリカバリー	4-12
空のフィーダーのエラーリカバリー	4-12
OMR のエラーメッセージ	4-13

このページは意図的に空白になっています。

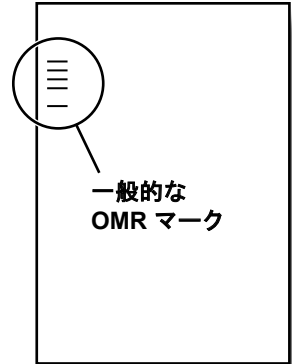
光学的マーク認識 (OMR)

OMR マークは通常、用紙が搬送される向きと直角に、明るい色の用紙に印刷される濃い色の実線です。この線には、OMR スキャナーを動作するための太さと濃さが必要になります。

OMR スキャナーは OMR システムソフトウェアと連携して動作し、ドキュメントがシステムに搬送される際に、ドキュメントにある OMR マークを確認します。これらのマークを読み取り、封筒毎に異なる枚数の用紙を正しく封入し、郵便物の整合性を向上します。

注：モデルによっては、お使いのインサーターに OMR スキャン機能が装備されている場合があります。

注：OMR ジョブの設定手順については、本書の「ジョブの設定」セクションを参照してください。



正確性

本システムの OMR は、高レベルのエラー確認機能を使用します。この機能により、封筒に誤ったシートセットが封入される可能性が低くなるため、封入の正確性が大幅に向上します。

OMR とフィーダー

OMR 装備モデルには、シートフィーダー上にスキャンヘッドがあります。シートフィーダーに OMR マークが付いたシートをセットして、1 枚の封筒あたり 1 枚もしくは複数のシートをフィードし、C 折りおよび四つ折りをを行い封入します。

OMR シートによって制御されるようにインサートフィーダーを設定することもできます。これにより OMR を使用して、1 つの封筒に 1 つのフィーダーから様々な数のシートを封入でき、封入物の有無を指定することもできます。

封入物は、封筒内の最初のシートに挟まれます。OMR の機能を使うと、封筒ごとに中身を変更できるため、封筒内の最後のシートに窓付きの封筒で使用する場合、住所情報が含まれます。これにより、シートのセット毎に正しい宛先が表示されます。

本機の OMR では、高レベルのエラーチェック機能を使用しているため、間違ったシートのセットが封筒に封入される可能性は非常に低くなっています。

4・OMR スキャン

OMR のスキャンタイプ

基本 OMR: 複数ページの文書を丁合いできます。更に、それぞれの封筒に異なる枚数の用紙を入れることができます。マシンはセットの最後のシートから始めて、宛先シートが封入されるまで、各 OMR シートを個別に折り、封筒に封入します。

拡張 OMR: 動作中に選択したシートセットでシートのフィードを停止したり、他のフィーダーを使用するかどうかを選択することができます。また、郵便物の整合性のレベルを上げて、機密書類が間違った顧客に送付されないようにすることができます。

OMR のマーク位置

OMR スキャナーを機械に取り付けて、印刷された OMR マークを読み取ることができるように、マークはページ上の決められた範囲の位置に印刷する必要があります。

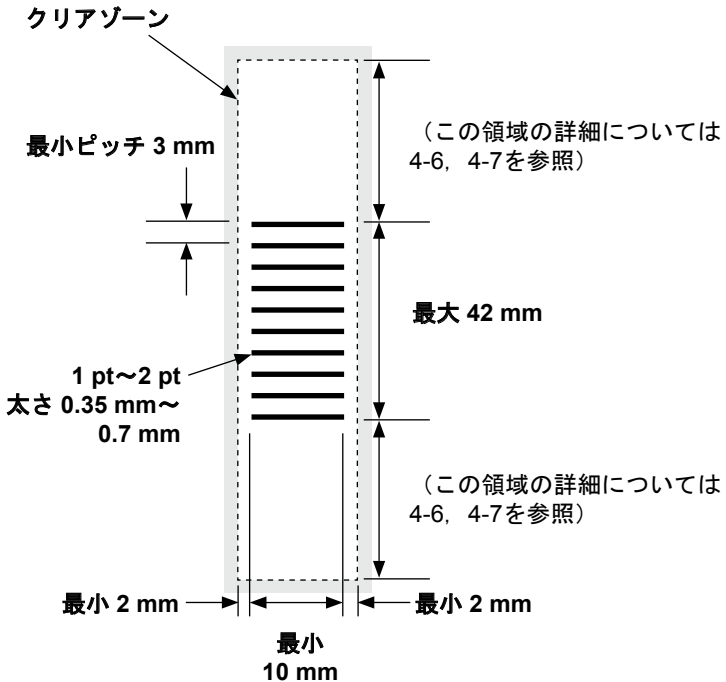
OMR の仕様

OMR マークは、太さが 1~2 pt (0.35 mm ~ 0.7 mm)、幅が最低でも 10 mm の黒の実線でなければなりません。

各マークの位置は、3 mm 以上の等間隔になる必要があります。

マーク周辺の領域 (クリアゾーン) には、誤ってスキャナーで読み取られる可能性のある印刷やその他のマークなどがないようにしてください。

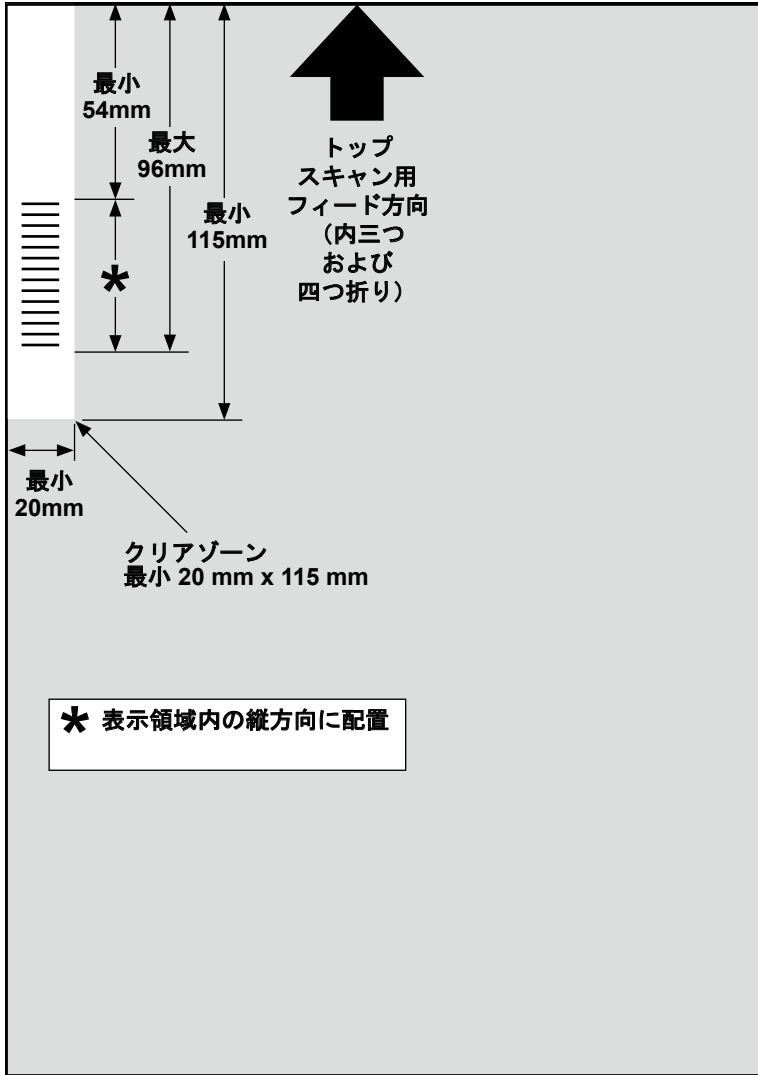
シートのクリアゾーンの真裏には、何も印刷しないようにしてください。



(注：図の縮尺は原寸に比例していません)

4・OMR スキャン

標準の OMR 位置

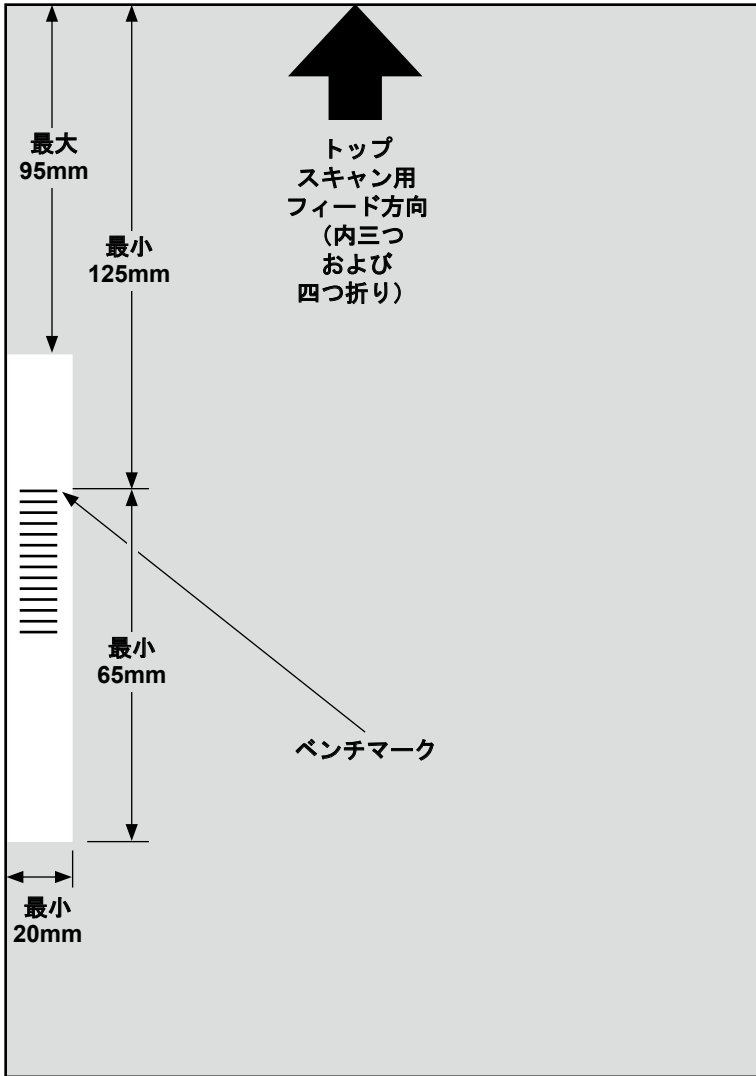


OMR マークの位置は以下のように決めます。

- ・ 内三つ折りおよび 四つ折り：トップスキャン、左上隅。

(図の縮尺は原寸に比例していません)

オフセットの OMR 位置



OMR マークの位置は以下のように決めます。

- ・ 内三つ折りおよび四つ折り：トップスキャン、左余白。

(図の縮尺は原寸に比例していません)

4・OMR スキャン

使用可能な OMR マーク

このセクションでは、OMR コードに割り当て可能または割り当てが必要な OMR マークを簡単に説明します。

注：このセクションに含まれる一部のマークは、OMR 機能を拡張する追加機能として使用できます。詳細は販売店にお問い合わせください。

ベンチマーク

これは必須のマークです。これはコードの最初のマークである必要があり、セット内のすべてのページに印刷されます。

セーフティ

これは、郵便物の整合性を向上する必須のマークです。ベンチマークの直後に自動的に配置されます。

名寄せの終わり (EOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最後のシート（住所シート）であることを示します。

システムはこのマークが存在しない場合に動作します。つまり、このマークがスキャナーで読み込まれない場合に、アクションが実行されます。したがって、OMR コードは「**Not EOC**」です。

名寄せの始め (BOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最初のシートであることを示します。

システムはこのマークが存在しない場合に動作します。つまり、このマークがスキャナーで読み込まれない場合に、アクションが実行されます。したがって、OMR コードは「**Not BOC**」です。

パリティ

このマークは、印刷時のマークの合計数を偶数にするセキュリティ機能です。スキャン中にコード内のマークのどれか一つ失われると、エラーを修正できるように、マシンが停止します。

リタイミングマーク

このマークは、コードを構成する OMR マークの各グループにおいて必須です（OMR マークのグループの説明については、このセクションの後半を参照してください）。

これにより、正確なスキャンのためにインサーターを再調整します。リタイミングマークはパリティ計算でカウントされます。

選択フィード (SF)

これらのマークは、追加の封入物がセットされているフィーダーからの用紙のフィードをセットごとに管理するために使用されます。

インサートフィーダーから用紙を選択するには、「選択フィード1」マークを使用します。

オートバッチ

このオートバッチを入れたセットの処理が終わるとマシンが停止します。このマークは、本機能を要求する OMR セットのすべてのシートに印刷される必要があります。

ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3)

番号付けシステムで、一連のバイナリコードを使用します。必要なページが含まれていなかったり、郵便物セット内の用紙の順序が乱れている場合、システムは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

3つのラップアラウンドシーケンスが、コード内で使用されます。3つの2進数の使用により、0~7で表記されます。ページには、0~7の数字が順に振られ、再び0に戻ります。印刷処理が行われている間は、これが繰り返されます。

4・OMR スキャン

OMR マークのグループ

それぞれの OMR コードは、2 つの固定マーク（ベンチマークおよびセーフティマーク）で始まります。これらのマークはセンサーに最も近い位置に配置されています。これらの後にグループ 1、2、または 3 のマークが続き、それぞれのグループは 3 つのデータマークで構成され、1 つの固定マークが続きます。それぞれのデータマークは必要に応じて、付いていたり付いていなかったりします。それぞれのコードは、リタイミングマークで終わる必要があります。

基本 OMR モードは、グループ 1 のみを使用します。**拡張 OMR モード**は、特定のジョブに必要なグループ 1 とグループ 2 および/またはグループ 3 を使用します。

内三つ折り および 四つ折りジョブ

シートの左上隅にマークを配置します。マークは上から下の順番で印刷される必要があります。



フィード方向

グループ 1 (必須)	——	ベンチマーク (固定)
	——	セーフティ (固定)
	——	EOC なし
	——	BOC なし
	——	パリティ
	——	リタイミング (固定)
グループ 2	——	選択フィード 1
	——	オートバッチ
	——	リタイミング (このグループ使用時は、固定)
グループ 3	——	ラップアラウンドシーケンス 3 (WAS3)
	——	ラップアラウンドシーケンス 2 (WAS2)
	——	ラップアラウンドシーケンス 1 (WAS1)
	——	リタイミング (このグループ使用時は、固定)

印刷

シートは、丁合いの逆順に印刷される必要があります。このため、それぞれのセットで処理される最後のシートが住所シートとなり、処理される最初のシートがそれぞれのセットの最後となります。

OMR スキャナーの調整

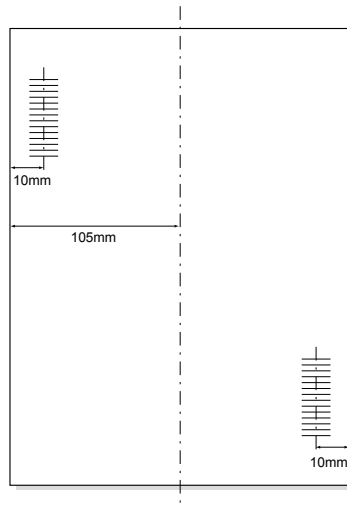
OMR スキャンが正常に機能するために、スキャンヘッドが用紙に印刷されているマークに合わせた位置にあることが重要です。

1. シートフィーダーのスキャンヘッドを見つけるには、上部カバーを開きます。スキャンヘッドは、マシン後部にあります。
2. 用紙を2つ折りにして、シートの側面から中央までの距離を測ります。
 - A4 サイズシート = この測定値は 105 mm
3. 次に、下記の例のとおりシートの端からマークの中央までの距離を測って、この測定値を2つ折りの測定値から引きます。

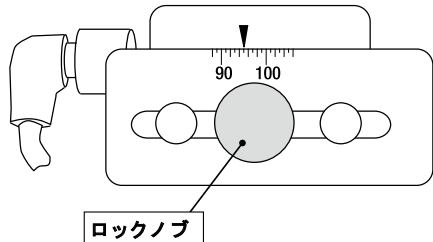
紙折りの例：

A4 サイズシートの場合、この2つ折りの測定値は **105 mm** になります。

用紙の端からスキャンダッシュマークの中央までの距離が **10 mm** の場合、スキャンヘッド設定は **95mm** (105 mm - 10 mm) になります。



4. ロックノブを緩めて、関連するスキャンヘッドを正しい位置にセットします。
5. ロックノブを締め直します。



4・OMR スキャン

OMR のトラブルシューティング

OMR ジョブのエラーリカバリー

OMR ジョブ中にマシンが停止し、次のエラーメッセージのいずれかが表示された場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで **[クリアデッキ]** キーを押します。封入エリアにあるすべての封筒はスタッカーに排出されます。
2. 現在のセットの残りのページはフィードおよび折りが実行され、スタッカーに排出されます。必要に応じて、手動で封入します。
3. 次のセットの最初のページがフィードローラーに少しフィードされ、停止します。シートを通常のフィード位置に引き戻します。
4. 処理を再開します。

名寄せジョブのエラーリカバリー

名寄せジョブ中にマシンが停止した場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで **[クリアデッキ]** キーを押します。
2. 封入エリアにある封筒はスタッカーに排出されます。フィーダーから、セットの残りのページを手で取り除きます。
3. 残りのページの折りを実行し、封入します。
4. 停止の原因を特定したら、処理を再開します。

空のフィーダーのエラーリカバリー

フィーダーが用紙切れになった場合、マシンは停止します。次の手順を行います。

1. 空のトレイに用紙を補充します。
2. **[スタート]** を押して続行するか、**[ストップ]** を押して **[クリアデッキ]** を押します。
3. フィーダーを再度セットしてから、必要に応じて続行します。

OMR のエラーメッセージ

メッセージ	アクション
マーク スペースガ フテキトウデス	予測された長さの半分より近い間隔で 2 つのマークが読み取られています。マテリアル上のスキャン マークを確認してください。
マークガ アリマ セン	用紙にマークがありません。スキャンセンサーがスキャンマークに対して、中心に位置していません。用紙が正しくセットされていません。
マーク コウセイガ チガイマス	用紙のコード タイプが設定と一致しません。例：設定は、「 OMR+ シーケンス」だが、用紙は「 OMR+ 選択フィード + シーケンス」
マーク コウセイヲ カクニン	リタイミングスキャンマークがありません。マテリアルを確認してください。例：10 のマークコードからマーク 6 が見つかりません。
ナヨセ ジュンジョ ヲ カクニン：1	予測しなかった BOC マーク（位置 4）が存在します。セットの最初のページが開始ページと判断されました。
ナヨセ ジュンジョ ヲ カクニン：2	予測された BOC マーク（位置 4）が存在しません。セットの最初のページ以外が開始ページと判断されました。
OMR：パリティエ ラー	コードに偶数のマークがありません。
OMR：シーケンス エラー	シーケンス番号が前にフィードされたページと連続していません。シートの順序が間違っているか、シートが見つかりません。
OMR：SF マークガ イチシマセン	位置 7~9 の選択フィードおよびオートバッチマークがこのセットの以前のシートのマークと異なります。
OMR：SF ショウシ ナイ	選択フィードマークが 7~8 の位置にありますが、ジョブ設定に選択フィードが含まれていません。
OMR：ナヨセ マ イスウガ オオスキ マス	セットに含まれるメインフィーダーからのシート数が多すぎます。
OMR：エンド オブ バッチ：レディ	これは、本機が「バッチの終了」により停止したことを示します。手で封筒を仕分けできます。
モードヘンコウ サイ セットアップ	セットアップモードを終了する前に、実行しているジョブに対するシートフィーダーとインサートフィーダーの設定を確認する必要があります。

このページは意図的に空白になっています。

5・紙詰まり解消

目次

紙詰まり解消	5-3
マシン内部へのアクセスによる紙詰まり の除去	5-3
シートフィーダートレイ - 取り外しと 取り付け	5-3
紙折りプレート - 取り外しと取り付け	5-4
インサートトレイ - 取り外しと取り付け	5-4
キャリッジアセンブリへのアクセス	5-4
封筒フィーダーエリアへのアクセス	5-5
封筒排出エリアへのアクセス	5-5
封筒封入／封かんエリアへのアクセス	5-6
シートフィードエリアへのアクセス	5-6

このページは意図的に空白になっています。

紙詰まり解消

マシンは、最大限のパフォーマンスを提供することを目的として設計されています。紙詰まりが発生した場合は、場所を示す記号がディスプレイ上で点滅します。

紙詰まりを除去するには、次の手順で行います。

1. **【クリアーデッキ】**を押して、用紙を排出します。
2. 紙詰まりが除去されない場合は、紙詰まりの原因となっているトレイと紙折りプレートを手動で取り外し、詰まっている場所にアクセスします。

手動クランク

紙詰まりの場所を特定したら、手動クランクを使用して、用紙をフィードローラーのグリップから手動で取り除く必要があります。

手動クランクは、インサーターの左前面にあるドロップダウンカバーの後ろにあります。



マシン内部へのアクセスによる紙詰まりの除去

シートフィーダートレイ - 取り外しと取り付け

シートフィーダートレイを取り外すには：

1. トレイの後部を少し持ち上げ、まっすぐに引き出します。

注：トレイに用紙がセットされている場合は、トレイを取り外す際に用紙が前に滑り出ないように、用紙を軽く押さえます。



シートフィーダートレイを取り付けるには：

1. トレイをサイドフレームの位置ガイドに差し込みます。
2. トレイの後部を少し持ち上げ、押し込みます。トレイは、自動的に正しい位置に収まります。

5・紙詰まり解消

紙折りプレート - 取り外しと取り付け

紙折りプレートを取り外すには：

1. プレートの下にある2つの留め具を外側に引き出し、解放します。
2. プレートをまっすぐに引き出します。



紙折りプレートを取り付けるには：

1. (プレートの下にある) 2つの留め具を外側に引き出し、解放します。
2. プレートを位置ガイド内にスライドして留め具をずらし、プレートを所定の位置に固定します。

インサートトレイ - 取り外しと取り付け

インサートトレイを取り外すには、トレイをインサーターからまっすぐに引き出します。

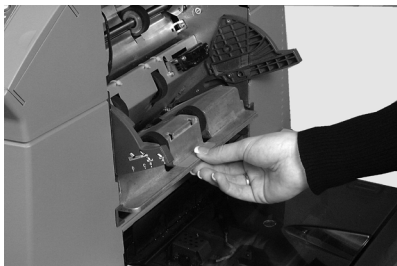
インサートトレイを取り付けるには、トレイを定位置ガイド内にスライドさせ、カチっという音がするまで押します。



キャリッジアセンブリへのアクセス

紙詰まりの場所にアクセスするには、キャリッジアセンブリを引き出します。

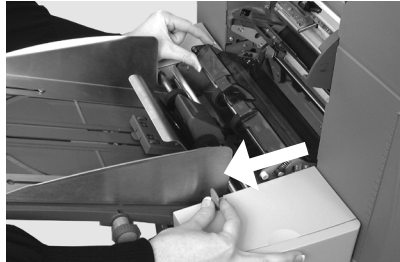
1. インサートフィーダーを取り外します。
2. 紙折りプレート2を取り外します。
3. キャリッジアセンブリを取り外します。



封筒フィーダーエリアへのアクセス

封筒エリアのフィードローラーを取り外して、封筒フィーダーエリアの紙詰まりの場所にアクセスします。

1. リリースレバーを矢印の方向に引きます。
2. 封筒エリアのフィードローラーを持ち上げて、紙詰まりの場所にアクセスします。



フィードローラーをもう一度元に戻すには、次の手順で行います。

1. 封筒エリアのフィードローラーを所定の位置に置きます。
2. 所定の位置に収まるまで、ローラーをしっかりと下に押し込みます。

封筒排出エリアへのアクセス

1. アクセスカバー（写真を参照）を引き下げて、紙詰まりの場所にアクセスします。
2. アクセスカバーを閉じる際には、所定の場所にしっかりと収まるようにします。



5・紙詰まり解消

封筒封入／封かんエリアへのアクセス

封入エリアおよび封かんエリアにアクセスするには、色のついたプラスチックカバーを持ち上げて、封筒インパーターのアクセスカバーを引き下げます。

シートフィードエリアへのアクセス

青いハンドルを取り外して、シートフィーダーエリアの紙詰まりの場所にアクセスします。

1. 上部カバーを開きます。
2. 2つの青い取手を両側から一緒につまんでガイドアセンブリを右側に回し、紙詰まりの場所にアクセスします。



青いハンドルをもう一度元に戻すには、次の手順で行います。

1. 2つの青い取手を一緒につまんで、ガイドアセンブリを元に戻し、しまい込みます。
2. ガイド部分がしっかりと定位置に収まっていることを確認してから、2つの青い取手を放します。
3. 上部カバーを閉じます。

6・トラブル シューティング および エラーメッセージ

目次

トラブルシューティング全般.....	6-3
エラーメッセージ.....	6-7

このページは意図的に空白になっています。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

トラブルシューティング全般

問題	解決方法
本体	
ディスプレイに何も表示されない	
電源が入っていない。	電源コードがしっかりと接続されており、壁コンセントがオンになっていることを確認してください。
インサーターのスイッチがオンになっていない。	電源スイッチ（左側面に配置）をオンにしてください。
インサーターが動作しない	
カバーが開いている。	すべてのカバーが閉じていることを確認してください。カバーの情報については、ディスプレイを確認してください。
フィードトレイまたは紙折りプレートが正しく取り付けられていません。	すべてのフィードトレイと紙折りプレートを取り外して、取り付け直してください。正しい位置にしっかりと固定されていることを確認してください。
封入の問題	
封筒に内容物が正しく封入されていない。	封筒のトラブルシューティング情報を確認してください。 用紙のサイズに合った正しい紙折りが選択されていることを確認してください。 厚い用紙または薄い用紙を使用する場合は、封筒ストップ調整の変更が必要な場合があります。

6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ


問題	解決方法
封筒	
封筒がフィードできない	
封筒のサイドガイドが正しくセットされていない。	ガイドを封筒幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
封筒の品質に問題がある。	封筒が丸まっていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。セットする前に束をパラパラとめくってさばいてください。
封筒が正しくセットされていない。	封筒フラップ側を上向きに、フラップ反対側からフィードしてください。
封筒が開いていない	
封筒が正しくセットされていない。	封筒フラップ側を上向きに、フラップ反対側からフィードしてください。
封筒の品質に問題がある。	過度の湿気のために、封筒が互いにくっついていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。
封筒の封かんの問題	
封かん水がない。	シーラーユニットに水を補充してください。
封かんモードが選択されていない。	<ul style="list-style-type: none">ジョブの設定を確認してください。封かんモードをオンにしてください。
封かんが不十分。	封かんフェルトの交換が必要な場合があります。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

問題	解決方法
シート	
シートがフィードできない	
フィードするフィーダーが選択されていない。	ジョブの設定を確認してください。
シートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていない。	ガイドをシート幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
シートが正しくセットされていない。	セットする前に束をパラパラとめくってさばいてください。
複数のシートがフィードされている	
手差しフィードモードが選択されている。	ジョブの設定と手差しフィードレバーの位置を確認してください。
シートが正しくセットされていない。	セットする前に束をパラパラとめくってさばいてください。
宛先が封筒の窓に正しく表示されない	
住所が記載されたシートが正しくセットされていない。	封筒窓から住所が見えるようにシートをセットしてください。
紙折りが正しく設定されていない。	ジョブの設定を確認してください。
正しく折られていない	
紙折りとミシン目の位置がほとんど重なっているために、箱折りまたは三つ折りになる。	紙折りサイズを調整して、問題を解決してください。

6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

問題	解決方法
インサート	
封入物が正しくフィードできない	
フィードするフィーダーが選択されていない。	ジョブの設定を確認してください。
インサートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていない。	ガイドを封入物の幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
インサートフィーダーのセパレーターが正しく調整されていない。	使用する封入物のタイプに合わせて、2つのフィーダー調整（数字とアルファベット設定）が正しく行われていることを確認してください。
封入物が正しくセットされていない。	セットする前に束をパラパラとめくってさばいてください。封入物の束の向きを変更する方法もあります。
インサートフィーダーのウェッジ（押さえ）が正しくセットされていない。	ウェッジを下にスライドさせて、封入物の束の後ろに移動して支えます。
封入物が仕様に合っていない。	このガイドで仕様を確認してください。

二重検知	
インサーターが実際には発生していないダブルフィードのために停止するか、ダブルフィードが発生しても停止しない	
二重検知機能がオンになっていない。	<ul style="list-style-type: none"> 二重検知機能の状態を確認してください。二重検知アイコン  が、二重検知機能が使用可能なすべてのアイテムの横に表示されます。 必要に応じて、用紙のセットまたはジョブ設定を修正してください。
二重検知機能が正しく調整されていない。	新しい用紙をセットした場合は必ずテストを実行し、二重検知機能を再調整してください。新しい用紙では、厚みがわずかに異なる場合があります。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

エラーメッセージ

メッセージ	アクション
サービス コール	機械の電源をいったん切って、もう一度入れてみてください。それでもメッセージが表示される場合は、弊社カスタマーサービス部までご連絡ください。
フィーダー ヲ チェック	表示されたフィーダーが用紙をフィードしていません。用紙をフィーダーから取り出し、セットし直してから、機械を再起動してください。
フィーダー ヲ シラベテクダサイ	表示されたフィーダーが正しく装着されていません。トレイを取り外して装着し直してください。表示されたフィーダーの用紙のセットを確認してください。
オリ プレート ヲ シラベテクダサイ	表示された折りプレートが正しく装着されていません。折りプレートを取り外して装着し直してください。
インバーター ヲ チェック シテクダサイ	封筒インバーターユニットが正しい位置に装着されていません。インバーターカバーを開けて、用紙の有無を調べ、カバーを閉めて、再起動してください。
サイゴ ノ フウトウ ヲ チェック	封筒が開いていません。封筒が正しくセットされているか確認してください。封筒をセットし直して、機械を再起動してください。
オリプレートノ ヨウシ クリア	折りプレートの内側に用紙が見つかったとディスプレイに表示されています。折りプレートを取り外して、用紙の有無を調べ、もう一度取り付けてください。
クリア インサート ブ	封入エリアに用紙もしくは封筒が見つかりました。機械の左側の薄いプラスチックカバーを開けて、用紙もしくは封筒を取り出してください。カバーを閉めて、再起動してください。
クリアー モイスト ナー	シーラーブラシエリアに封筒が見つかりました。機械の左側の薄いプラスチックカバーを開けて、用紙もしくは封筒を取り出してください。カバーを閉めて、再起動してください。
クリアー シーラー	シーラーブラシエリアに封筒が見つかりました。機械の左側の薄いプラスチックカバーを開けて、用紙もしくは封筒を取り出してください。カバーを閉めて、再起動してください。
カバー ヲ トジテクダサイ	表示されたカバーがしっかり閉まっていません。表示されたカバーを閉めて、再起動してください。
ハンド クランク カバー ヲ トジテクダサイ	手動クランクのカバーがしっかり閉まっていません。カバーを閉めてください。

6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

メッセージ	アクション
デフレクター エラー	半分折りの機能が何らかの原因で動いていません。折りプレートを取り外して、用紙の有無を調べてください。
ダブルフィード	表示されたフィーダーから二重送りが検出されました。機械から用紙を取り除き、再起動してください。二重送りが繰り返される場合は、テストを繰り返してください。
ダブル チェック (スタッカー)	表示されたフィーダーから二重送りが検出されました。スタッカーから二重送りされた用紙を取り除き、機械を再起動してください。
オリ プレート ガ セット サレテイマセン	折りプレートが正しい位置にセットされていません。折りプレートを取り外して、用紙の有無を調べてください。折りプレートを再装着して再起動してください。
マニュアル フィード タイムアウト	フィーダーに入れられた用紙が見つかりません。手差しフィードモードの場合は、設定時間内に用紙をフィードしてください。[スタート] を押して再起動してください。
ヨウシ ガ ミジカスギマス	使用している用紙が短すぎます。使用する用紙の長さが、表示されている長さに合っているかを確認してください。正しい場合は、もう 1 度テストをしてください。
ヨウシ ショート チェック (スタッカー)	使用している用紙が短すぎます。使用する用紙の長さが、表示されている長さに合っているかを確認してください。正しい場合は、もう 1 度テストをしてください。
レバー ヲ セット シテクダサイ	手差しモードに対してフィードレバーの位置が正しくありません。レバーを正しい位置に移動してください (左: 手動、右: 自動)。
ストリーム フィード	フィーダーから 2 枚の用紙が同時にフィードされています。本体から用紙を取り除き、セットし直して、マシンを再起動してください。
ストリーム フィード チェック (スタッカー)	フィーダーから 2 枚の用紙が同時にフィードされています。スタッカーから同時にフィードされた用紙を取り除き、セットし直して、機械を再起動してください。
システム エラー デンゲン オフ	ソフトウェアに何らかの障害が見つかりました。電源をいったん切ってから、入れ直してください。エラー表示が繰り返される場合、弊社の担当者にご連絡ください。
ヨウシ ガ アリマセン	表示されたトレイに用紙がありません。トレイに用紙をセットし直して、[スタート] を押してください。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

このページは意図的に空白になっています。

7・マテリアルの仕様

目次

マテリアルの仕様.....	7-3
シートフィーダー.....	7-3
インサートフィーダー.....	7-5
シーラー.....	7-5
スタッカー.....	7-5
用紙要件.....	7-5
封筒フィーダー.....	7-6
マシンの仕様.....	7-7
サービス.....	7-8

このページは意図的に空白になっています。

マテリアルの仕様

シートフィーダー

最小用紙サイズ： 幅 127 mm
長さ 127 mm

最大用紙サイズ： 幅 229 mm
長さ 406 mm

用紙の重量： 最小 60 g/m² (OMR 以外)
最小 70 g/m² (OMR)
最大 120 g/m²

折りの設定（紙折り前の用紙の長さ制限）：

折りタイプ	計測値
二つ折り	127 mm ~ 315 mm
C（内三つ折り）	150 mm ~ 356 mm
Z（外三つ折り）	201 mm ~ 356 mm
四つ折り	305 mm ~ 406 mm

二重検知用紙の範囲：

最小： 60 g/m²
最大： 120 g/m²

フィードトレイの容量：コピー用紙最大 325 枚

手差しフィードモード：

- インサーターは、80 g/m² の用紙を最大 5 枚セット（ホチキス留めあり、最大400 g/m²）まで処理可能です。
注：手差しフィードでは、シートフィーダーのみを使用し、必要に応じてインサートフィーダーを使用できます。
- 折りおよび圧縮後の最大の厚みは、2 mmを超えないようにしてください。
- 光沢紙およびコート紙の使用はお勧めしません。

7・マテリアルの仕様

折りタイプと厚み全体の制限

次の表で、用紙の紙質の違いに基づいて、積載または丁合いが可能な最大シート数を示しています。

重要！これらの最大枚数を超えるジョブを設定したり、OMRコード印刷および／または OMR 選択フィードで設定しないでください。

シート数	用紙重量 (g/m ²)		
	60~80	81~100	101~120
1	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S、D
2	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S
3	C、Z、S、D	C、Z、S	C、Z、S
4	C、Z、S	C、Z、S	
5	C、Z、S		

折りタイプ：C=内三つ折り、Z=外三つ折り、S=二つ折り、D=四つ折り

注

- 郵便の内容物の圧縮後の総厚みが 2 mm を超えない場合に限り、封入物を 1 枚さらに追加できます。
- 二つ折りで 60~75 g/m² 用紙を使用した場合は、封筒には最大 10 枚入れることができます。この最大数には、インサートフィーダーからの追加の枚数が含まれます。その場合も、圧縮後の総厚みの最大値である 2 mm が適用されます。

インサートフィーダー

最小サイズ： 幅 127 mm
長さ 82 mm

最大サイズ： 幅 230 mm
長さ 152 mm

用紙の重量： 最小 75 g/m² (折りなし、カットシート)
最大 180 g/m² (1枚のシート)
最小 60 g/m² (折り済み)
圧縮後の最大の厚みが 2 mmの封入物

折り済み封入物および一枚板上の封入物は、インサートフィーダーからフィードする必要があります。

二重検知

用紙幅： 最小 60 g/m²
最大 120 g/m²

フィードトレイの容量： 最大 100 枚

シーラー

1回の補充で、最大 1,200 枚の封筒を封かんします。

スタッカー

封筒スタッカーには、最大 150 通の封筒を積み重ねられます (封筒サイズと内容物による)。

用紙要件

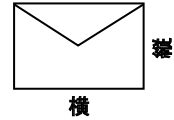
- 最高の性能を得るために、ピツニーボウズ推奨用紙のみを使用してください。
- 品質を維持するために、用紙は適切な方法で保管してください。
- 推奨される保管条件
18°C~25°C
40%~60%の相対湿度

7・マテリアルの仕様

封筒フィーダー

最小封筒サイズ： 縦 88 mm
横 220 mm

最大封筒サイズ： 縦 164 mm
横 242 mm



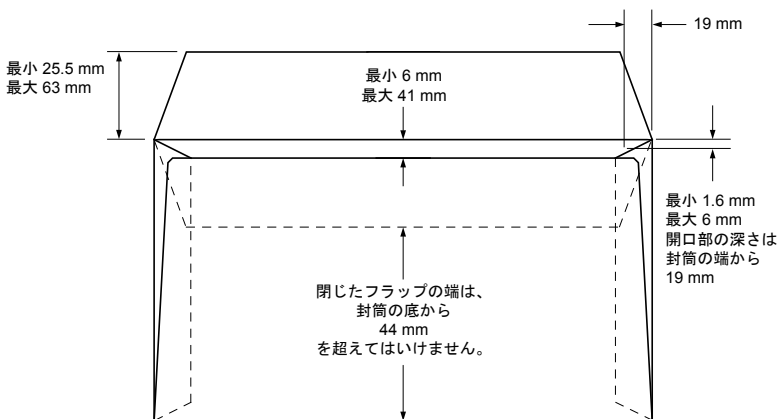
封筒の重量： 最小 65 g/m²
最大 100 g/m²

封筒トレイの容量： 最大 100 枚（90 g/m²）の封筒。

端の余白： 封入物と封筒の端の余白は、両端とも最小 6 mm です。つまり、合計で最小 12 mm です。この余白は、封筒に入れるすべてのドキュメントに適用されます。

深さの余白： 封入物は、封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に、紙折りしていないドキュメントは最小 3 mm、紙折りしているドキュメントは 6 mm の余白が必要となります。

封筒のフラップと開口部の要件



マシンの仕様

マシンサイズ：

横： 773 mm
奥行： 568 mm
高さ： 525 mm
重量： 55 kg

騒音レベル（稼働中）： 72dBA

電源仕様：

100 V、50/60 Hz

処理スピード：

1時間あたり最高 2,500 サイクル（折りタイプ、用紙の品質による）

紙折りモード：

- 二つ折り
- C - 内三つ折り
- Z - 外三つ折り
- 四つ折り

7・マテリアルの仕様

サービス

ピツニーボウズサービスはインサーターを最高の状態をご利用いただくために、保守契約を提供しています。詳細は、お近くのピツニーボウズオフィスまたは指定販売店までご連絡ください。

このページは意図的に空白になっています。

ピツニーボウズジャパン(株)
www.pitneybowes.com/jp